

林 声



岡山県マスコットももっち

No.417. 2011. 5. 1

「森林セラピー基地」(真庭郡新庄村) の紹介



ゆりかごの小径

新庄村の毛無山周辺には、大山隠岐国立公園の一角をなす、県内でも最大級のブナ林が広がっています。

これらの自然を活用して、平成20年4月、岡山県で初めての「森林セラピー基地」が認定されました。森林セラピーとは、森林の癒やし効果を科学的に実証して、ストレス解消や健康増進に活用していこうとする取組のことです。

新庄村では、地元住民等が参加した森林セラピー協議会を設立し、ガイドの養成など様々な準備を進め、平成21年5月にグランドオープンしました。

メイン施設である「ゆりかごの小径」は貴重な動植物を育む豊かな自然に囲まれた、全長2kmのセラピーロードです。新庄村認定のガイドの案内により、1時間半以上かけてゆっくり、ゆったりと散策します。

最近では村内外からのリピーターや団体客などが増え、たくさんの方に親しまれています。



ハンモック体験

森林の名称	森林セラピー基地
森林の所在	真庭郡新庄村毛無山周辺
ガイド利用料	利用者1人 500円
問い合わせ先	事務局 真庭郡新庄村 2008-1 新庄村 産業建設課

目 次

就任のごあいさつ	2
国際森林年	3
平成23年度森林・林業主要事業	4
お知らせ	8
市況情報	10

就任のごあいさつ

林政課長
森 信久

若葉が薫る季節となりました。会員の皆様方にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたびの人事異動により林政課長に就任いたしました。誌上をお借りし一言ごあいさつを申し上げます。

去る三月十一日には、東日本大震災により甚大な被害が発生しました。岡山県では、国・市町村と協力して、被災地への職員派遣や生活支援を進めております。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、本県では、昨年三月に改訂した「21おかやま森林・林業ビジョン」に沿って、林業における生産性の向上、木材・木質バイオマス利用の促進、県民参加の森づくりなど、様々な課題に対応した施策を推進しています。

特に本年度は、森林整備加速

化・林業再生事業の三年計画の最終年度であり、間伐等の着実な推進により、目標を達成したいと考えております。

また、木材需要拡大対策では、新築県産材住宅への助成を拡充するほか、この三月に策定した公共建築物への県産材利用促進方針を着実に実現するため、公共建築物等木材利用促進事業を新たに実施し、県産材を使用した木造化計画を支援します。

さらに、「おかやま森づくり県民税」を活用して、松くい虫被害林の再生対策、市町村提案型森づくり事業への支援、小学校への県産材製の机・椅子の設置などに引き続き取り組めます。

一方、国においては、今後十年間に木材自給率を五〇%にまで高めることを目標とした「森林・林業再生プラン」を推進するため、この四月に森林法の改正が行われたところであり、今後、新たな直接支払制度等の施策が具体化されるようとしています。

今後とも、本県の林業・木材産業の振興のために、努力する所存でございますので、さらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

森林研究所長
廣井 睦生

この度の人事異動により森林研究所長を拝命いたしました。誌上をお借りし一言御挨拶を申し上げます。

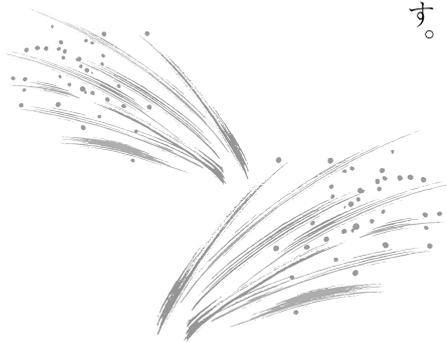
岡山県農林水産総合センター森林研究所が発足して一年が経ちました。当研究所は本県の林業木材産業発展及び森林林業施策の推進に寄与するため、長期的な展望に立って試験研究を行っております。その内容は①森林整備技術、②林業生産技術・林木育種、③特用林産物生産技術、④木材の材質特性、⑤木材の加工技術、⑥木質材料の開発の六分野にわたっています。

平成二十三年度はこの中から十五の課題に取り組むこととしていますが、「間伐材の有効利用に向けた先進的低コスト作業システムの研究」は、林業の振興を図る上で喫緊の課題であると言えます。

また、「ナラ類集団枯損初期被害防止のための調査研究」は、ナラ枯れの原因となるカシノナガキク

イムシに対する発生初期的確な駆除を図ろうとするもので、本県での被害発生を抑止力になればと考えています。木材関係では「地域産材を活用した規格木材を生産するための乾燥技術の開発・改良」の課題などの他、外部知見型・産学官連携研究事業を活用し「天然塗料を用いた環境に優しい建築用着色木材の開発」にも取り組むこととしています。

当研究所は林業普及指導員と連携して森林、林業、木材についての普及研修や展示の場としても大切な役割を担っています。会員の皆様を始め県民の方々に森林、林業、木材加工に関する情報発信基地として、さらに貢献できるように努力してまいります。今後とも一層の御支援をよろしく申し上げます。



国際森林年について

森林は、水資源のかん養や国土の保全、地球温暖化の防止などの公益的機能を有しており、森林に対する期待は、国内外を問わずますます高まっています。

一方、国連食糧農業機関（FAO）によると、世界の森林面積は、四千万平方キロメートルで、陸地の約三割を占めていますが、熱帯雨林地帯等では、過剰な伐採や農地への転換、火災などで、年間約一三万平方キロメートルの森林が消失しています。これは、日本の国土面積の三分の一に相当し、三年間で日本列島一つ分の森林が無くなっている計算になります。

一 国連の取組

このため、国連は森林を末永く保全・利用し、森林の持続可能な経営・保全の重要性に対する認識の向上を図るため、二〇一一年を「国際森林年」とすることを決議し、「人々のための森林」をテーマとして、森林問題の普及啓発に取組むことなどを各国政府に呼びかけるとともに、植樹や森林

祭、会議やスポーツ行事などの活動を行うこととしています。



また、国際森林年を広くPRするため、国際森林フォーラムでは「二〇一一国際森林年ロゴマーク」を制定しました。

二 我が国の主な取組

日本では、「森を歩く」というテーマのもと、国土緑化推進機構や美しい森林づくり全国推進会議が協力し、森林の保護や育成、木材についての正しい理解促進などを目指した官民あがりの活動が展開されることとなっています。

① 国際森林年国内委員会の運営

国内外において国際森林年に関する啓発活動等を実施

② 国際森林年名誉大使活動の展開

国際森林年名誉大使を任命し、国内外において国際森林

年に関する活動等を実施

③ 国際森林年普及事業の実施
森林・林業の再生や途上国の森林保全等に対する国民の理解の促進につながるような必要な情報の整備を図り、民間企業等による記念事業など我が国における幅広い取組を支援

④ 国際森林年記念会議の開催
海外から専門家等を招き、国内の森林・林業関係者等の意識啓発を図る行事を開催し、国内の森林・林業再生に向けた動きをバックアップ

三 本県での取組

本県では、市町村や関係団体等と連携し、森林活動のイベントなどを積極的に実施し、県民の方々の森林に対する理解を深め、森づくり活動への参加や気運の醸成に努めることを目的として、次の活動を国際森林年の取組として位置づけています。

① 「企業との協働による森づくり」、「おかやま共生の森」など「おかやま森づくり県民基金事業」等の県民参加による森づくり活動

② みどりを守り育てていく心を育

む契機とするための「みどりの大会」の開催

③ 各種広報媒体の活用や街頭PR等を通じた、県民への森づくり情報の発信・提供 など



森づくり情報の発信



県民参加による森づくり

また、先に紹介したロゴマークは、営利を目的としない地方公共団体等において自由に使用することができま。各種森林イベント等の開催に当たっては、このロゴマークを使用し、国際森林年のPRに是非活用願います。

(林政課森林企画班)

平成 23 年度森林・林業主要事業について

森林は、水資源のかん養や県土の保全、地球温暖化の防止などの公益的機能を有しており森林に対する県民の期待はますます高まっています。

一方、世界的な景気後退による住宅着工戸数の大幅な減少や、木材価格の低迷、手入れのき届かない森林の増加など、森林・林業を取り巻く情勢は厳しい状況が続いています。

このため岡山県では、「21おかやま森林・林業ビジョン」のもと、循環資源である木材木質バイオマスの利用促進、二酸化炭素の吸収源となる森林を確保するための間伐の推進など森林・林業を取り巻く諸課題に的確に対処することとしています。

平成23年度の森林・林業主要事業をご紹介します。

1. 主要事業の概要

●おかやまの木で家づくり推進事業

【担当課：林政課林業木材班】

木材需要の大半を占める住宅建築において、木造住宅の普及を促進し、品質の安定した県産乾燥材の積極的な利用を推進するため、柱や土台など主要構造部材に、県産乾燥材を一定量以上使用して木造住宅を新築する方への助成を行います。



(1) 助成額 新築 1 件当たり 20 万円

(2) 主な採択条件

- ①県内に自ら居住するための新築一戸建て木造の個人住宅（建売住宅も含む）
- ②主要構造部材に 8 m²以上の県産乾燥材を使用し、その使用量が木材使用量全体の50%以上を占める住宅
- ③住宅の規模は、延床面積80m²以上のもの
- ④建築基準法に基づく確認済証交付日又は建築工事届受理日が平成23年4月1日以降の住宅
- ⑤主要構造部材の施工が完了し、平成24年3月31日までに現地確認が可能なもの
- ⑥補助の対象となる部材が、国の他の補助事業の対象となっていないこと 等

●地域材活用促進支援事業【平成23年度限り】

【担当課：林政課林業木材班】

県産乾燥材の住宅・建築物への利用拡大を図るため、店舗・事務所等の新築や住宅、店舗・事務所等を改修する方へ助成を行います。

1 店舗・事務所等の新築

(1) 助成額 新築 1 件当たり 20 万円

(2) 主な採択条件

- ①県内に新たに建築される木造の店舗・事務所等
- ②主要構造部材に15m²以上の県産乾燥材を使用し、その使用量が木材使用量全体の50%以上を占める店舗・事務所等
- ③建築基準法に基づく確認済証交付日又は建築工事届受理日が平成23年4月1日以降の建築物
- ④主要構造部材の施工が完了し、平成24年3月31日までに現地確認が可能なもの
- ⑤補助の対象となる部材が、国の他の補助事業の対象となっていないこと 等

2 住宅、店舗・事務所等の改修

(1) 助成額 改修 1 件当たり 県産乾燥材使用量に応じて 6～20 万円

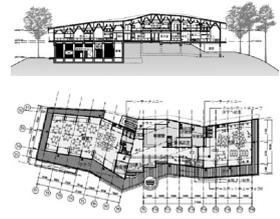
(2) 主な採択条件

- ①県内で改修される既存の住宅、店舗・事務所等
- ②主要構造部材及び内外装材等に 5 m²以上の県産乾燥材を使用し、その使用量が木材使用量全体の50%以上を占める住宅、店舗・事務所等
- ③主要構造部材及び内外装材等の納材が、補助金交付予定者決定通知書の交付日以降であること
- ④主要構造部材及び内外装材等の施工が完了し、平成24年3月31日までに現地確認が可能なもの
- ⑤補助の対象となる部材が、国の他の補助事業の対象となっていないこと 等

●公共建築物等木材利用促進事業

【担当課：林政課林業木材班】

昨年10月に施行された公共建築物等木材利用促進法に基づいて、公共建築物における木造化や内装等の木質化等を促進するため、市町村施設を始め、民間の学校や老人ホーム等法律に定められた公共建築物について県産材を活用して木造化を検討する場合に、実施設計に先立つ計画概要図書の作成経費を補助します。



〔県産材公共建物利用促進支援事業〕

- 1 事業主体 市町村、医療・福祉法人等公共建築物を整備する者
- 2 補助率 定額(1計画当たり上限40万円)
- 3 実施計画 10計画
- 4 補助対象 木造化のイメージを表現した計画概要図書の作成
外観パース、内観イメージ図、標準仕様図書、県産木材製品の導入計画書、木質バイオマスを燃料とする暖房器具やボイラーの導入計画書等

●林業担い手対策事業

【担当課：林政課林業木材班】

林業労働力の育成・確保を図るため、安全装備などの導入支援や、安全衛生の確保、林業事業者の福祉向上対策を進めます。



また、林業事業者が行う職場内研修への助成や、県・市町村の森林利用施設を活用した技術習得の機会を提供して新規就業者を育てます。

〔ニューフォレスター育成支援事業〕

- ・事業主体：森林組合等の認定事業体
- ・事業内容：林業事業者の行う職場内研修への支援(補助率：研修生1人につき月2万円以内)

〔ニューフォレスター創造事業〕

- ・事業主体：市町村等
- ・事業内容：県及び市町村管理の森林利用施設の整備を、新規就業者が技術習得できる研修の場として提供(補助率：市町村施設 1/2以内、県施設 10/10以内)

〔林業労働・安全安心推進事業〕

- ・事業主体：森林組合等の認定事業体
- ・事業内容：安全作業を確保するための装備等の導入支援(補助率：1/2以内)

●造林事業

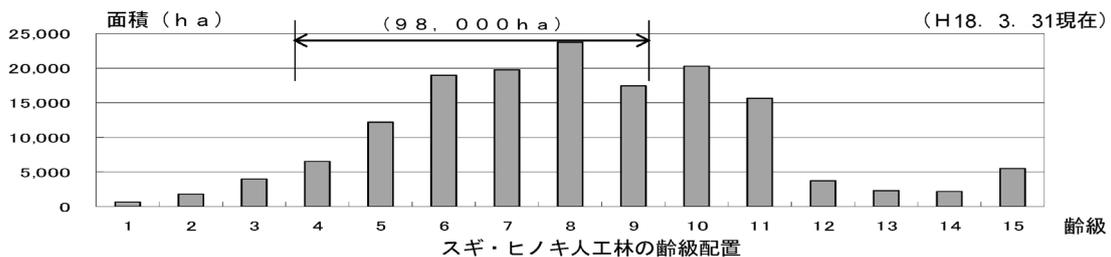
【担当課：治山課造林班】

森林・林業の再生と森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるため、間伐や伐期の長期化、針広混交林への誘導等など多様な森林整備を推進するとともに、「地球温暖化防止等間伐推進5カ年計画」により、平成20年度から5年間で3万ヘクタールの間伐を計画的に実施し、京都議定書の第1約束期間におけるCO₂の吸収源となる森林を積極的に確保します。



〔間伐対象森林の現状〕

民有林の人工林面積は173千haで、このうち4～9齢級(16～45年生)の間伐対象森林(スギ・ヒノキ人工林)は98千ha(57%)となっています。



●治山事業

【担当課：治山課治山班】

山地災害から県土を保全し、森林の公益的機能の維持・向上や、良好な生活環境の保全・形成を図るため、治山施設の設置による防災対策や荒廃森林の整備を計画的に実施します。

事業名	平成 23 年度計画
治山事業	70 箇所
森林維持管理事業	12 箇所



●林道事業

【担当課：治山課林道班】

林業経営の合理化や、間伐など森林整備の促進、山村地域の振興を図るうえで基幹的な施設となる林道の開設・改良・舗装を計画的に推進します。

・林道の現況（平成 22 年度末見込み）

路線数	総延長	林道密度
1,413 路線	2,092 km	4.7m / ha



2. 平成 23 年度予算額

平成23年度の当初予算額では、一般会計8,246百万円（対前年比94.9%）を計しています。

緑豊かで健全な森づくりの推進に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

（林政課森林企画班）

3. 平成 23 年度 森林・林業関係の試験・研究課題について

【森林研究所 林業研究室・木材加工研究室】

区分	課題名	実施年度
森林整備技術	強度間伐実施後の林木の成長 シカによる森林被害の実態と対策に関する研究 ナラ類集団枯損初期被害防止のための調査研究	21～23 23～25 22～23
林業生産技術・ 林木育種	抵抗性クロマツの作出 間伐材の有効利用に向けた先進的低コスト作業システムの研究 マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツの現地ランキング	20～24 23～24 22～24
特用林産物生 産技術	マツタケ菌の定着促進技術の開発 倒木接種による省力的きのこ栽培方法の研究 ギンナン生産拡大及びイチョウの樹勢回復方法 移動式バイオマス暖房機の実用化	22～24 23～25 22～23 23～24
木材加工技術	岡山県産構造用製材のспан表の作成 木材の新しい劣化診断技術の開発 地域産材を活用した規格木材を生産するための乾燥技術の開発・改良 木質バイオマスを有効利用するための品質の実態把握と改良方法の検討 天然塗料を用いた環境に優しい建築用着色木材の開発	23～25 23～25 19～23 23～24 22～24

全国林業グループ
コンクールに参加しました

奈義町林業振興会 植月 哲夫

平成二十三年三月一日、国立オ
リンピック記念青少年総合セン
ターにて開催された、全国林業グ
ループコンクールに参加させてい
ただきました。



今回参加された植月氏

全国各ブロックを勝ち抜かれた
六つの林業研
究グループか
らそれぞれの
地域の特性を
活かされた活
動報告があ
り、特に今回
は国策を反映
してか間伐の
集約化施業への取り組みと林家へ
の普及啓発、また次世代を担う子
供達への林業体験活動、あるいは
山林の境界の明確化など、地域の
方々と共に取り組んだという報告
が多かったように思います。

農林大臣賞を受賞された宮城県
の「南三陸町山の会」からは、地元
産の「南三陸杉」の良さを広く知っ
てもうらため独自で南三陸杉の製
品の強度試験を実施して強度を実

証するとともに、地元の製材所や
工務店、また建築設計士らと連携
して、これから家を建てる人や建
築を学んでいる高校生を対象に森
林見学会や製材所見学会を年に数
回開催するなど、地域の木で家を
建てる運動を積極的に展開されて
おり、徐々にその効果が上がって
いるとの報告がなされました。

私が勤務する奈義町森林組合で
も早くから「産直住宅」を手がけ
ておりますが、昨今の住宅着工件
数減少のあたりを受けて大変厳し
い経営を強いられております。か
つての好調な時代とは違い手をこ
まねいて待つていては事態は打開
できない状況下にあります。この
度の「南三陸町山の会」からの報
告をお聞きし、これからの事業運
営の参考とさせていただきますと
思います。

また、記念講演では、全林研願
問の田中林業代表 田中惣次氏よ
り「林業シン時代」と題してお話
がありました。田中氏は東京都西
多摩郡檜原村にてご先祖から受け
継がれた四〇〇鈔の山林の経営に
携わっておられ、木材生産はもと
より一般市民に対する林業体験
フィールドの提供、森林ボラン

ティアの育成また森林の総合的利
用を図るためコテージ事業を運営
される等幅広い森林の活用を展開
されているとのことでした。特に印
象に残ったのは、林業あるいは森
林を一定の地域や国内の範囲でな
く、地球規模で捉えて物事を考え
られていることと、外材が入って
きたおかげで日本の「人工林」と

「広葉樹」が伐採されることなく
生き残ることができたという、こ
れまでの概念を覆す新しい見方に
大変新鮮さを感じました。さら
に、私たちの営んでいる林業は、
木を伐り、山を削り、自然を傷つ
けていることで成り立っているこ
とを忘れてはならないとも説か
れ、現在国策として進められてい
る「作業路網整備」や「列状間
伐」等の画一的施業に対して警鐘
を鳴らされているようにも感じら
れました。最後に、これからの林
業は経済成長だけを追求する古い
産業としての林業から、国家社会
や地球環境にも貢献する新しい産
業として林業を捉え直し、意を新
たにして、心して取り組みなけれ
ばならないと結ばれました。

今回参加させていただき、それ
ぞれの立場で鋭意努力されている



会場の様子

ありますが、私たち一人一人の気
持ちの持ち方と努力次第では、何
とか道を切り開いて行けるのでは
ないかと、小さいながらも灯火が
見えたように思います。
貴重な機会を与えていただきあ
りがとうございました。

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

お知らせ

岡山県立森林公園開園

昨年一二月から冬期（積雪のため）閉園していた県立森林公園が、四月二二日に開園しました。同公園（三三四鈔）は、鏡野町羽出及び上齋原地域の鳥取県境に位置し、ブナ林や湿原など豊かな自然が残されています。

開園からしばらくは、中央園路沿いの湿地にはゼンソウやミズバショウが顔を出し、山はブナやカラマツの芽吹きで、パステル調に淡く色づいて、一年の中でも大変美しい時期です。林床にもキクザキイチゲやイワウチワなど、次々可愛らしい花が咲き出します。野鳥たちが盛んにさえずり、森の生き物も活発に動き出します。

大きな自然の力に触れに、森林公園に足をお運びください。



◇現地の最新状況等問い合わせ先

（森林公園管理事務所）

〇八六八（五二）―〇九二八

講習会等の開催（五〜七月）

●小型移動式クレーン運転講習

岡山 五月十九・二十日

七月十四・十五日

津山 六月六・七日

●玉掛け講習（未経験者）

岡山 五月十二・十三日

六月二・三日

七月七・八日

和気 五月十九・二十日

新見 五月二十六・二十七日

津山 六月二・三日

玉野 六月十三・十四日

笠岡 六月二十三・二十四日

●玉掛け講習（補助業務経験者）

岡山 五月三十・三十一日

◇問い合わせ先

（社）岡山県労働基準協会

（〇八六）二二五―三五七二

●伐木（特別教育）

津山 六月二十八・二十九日

●刈払機取扱作業（通達講習）

津山 五月三十一日

新見 六月七日

岡山 七月五日

◇問い合わせ先

林業・木材製造業労働災害防止

協会 岡山県支部

（〇八六）二二二―二二六〇

●移動式クレーン運転士免許試験

五月十一日

七月十九日

●林業架線作業主任者免許試験

六月八日

◇問い合わせ先

中国四国安全衛生技術センター

（〇八四）九五四―四六六一

●はい作業主任者講習

津山 五月十九・二十日

◇問い合わせ先

陸上貨物運送事業労働災害防止

協会 岡山県支部

（〇八六）一三四―一三三二

事務局からのお知らせ

○投稿募集しています！

『林声』は奇数月の発行です。次回は七月の発行予定です。イベントの開催、参加者募集などのお知らせや、紙面に対するご意見・ご要望もお気軽にお寄せください。なお、イベント・参加希望につきましては、掲載希望月の二ヶ月前までにお知らせください。

送付先

700820 岡山県庁林政課内または、
717003 森林研究所
木材加工研究室内

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用（空中散布・地上散布）ができる

スミパイン® 乳剤・MC

頼れる松枯れ防止用散布剤

モリエート® SC

ナラ枯れ予防用樹幹注入剤

ウッドキング® SP

伐倒木用くん蒸処理剤

キルパー® 40

伐倒駆除剤

パインサイド® S油剤D

樹幹注入剤

グリーンガード® ファミリー

お問い合わせは最寄りの県森連・森林組合へ



サンケイ化学株式会社

大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 Tel.(06)6305-5871



森林林業関係イベント参加者募集中



実施年月日	開催場所	イベントの名称	問い合わせ・申し込み先
5.15 (日) 9:00~12:30	櫻の杜 (井原市門田町地内)	櫻の杜塾・第 133 回杜の市 (特産品の販売など)	櫻の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL 0866-62-8614
5.27 (金)	岡山県森林組合連合会 (岡山市北区岡南町地内)	乾しいたけ共販 (招待入礼会)	岡山県森林組合連合会 〒700-0866 岡山市北区岡南町2-5-10 TEL 086-222-7671 FAX 086-224-2655
5.28 (土)	森林研究所 (勝田郡勝央町地内)	春の森林学習講座竹林の活用) ～穂先タケノコと竹炭～	森林研究所 〒709-4335 勝田郡勝央町植月中1001 TEL 0868-38-3151 FAX 0868-38-3152
6.19 (日) 9:00~12:30	櫻の杜 (井原市門田町地内)	櫻の杜塾・第 134 回杜の市 (特産品の販売など)	櫻の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL 0866-62-8614

(1) 第一号 林業 昭和二十六年一月一日



(第1号は岡山県知事のあいさつから始まりました)



『林業普及』の発刊のことば

岡山県知事 西岡広吉

昭和二十六年の新春にあたり県と地方民間との林業連絡機関として「林業普及」を発刊することになりましたことは、誠によろこびに耐えない次第であります。

大戦以来、本県の山林は極度に荒廃し、北部山林地帯は、水源が枯涸し、或るいは水害の危機を包蔵し、南部の山林は益々荒廢の度を増し、その結果は発電、干拓、文化施設等の外産業に経済に憂うべき影響をも及ぼしつつあります。

しかしながら終戦第六年の新春を迎え、ようやく金県下に造林の機運が高まり、治山の実も着々挙つてまいりましたことは御同

昭和二十六年の新春にあたり県と地方民間との林業連絡機関として「林業普及」を発刊することになりましたことは、誠によろこびに耐えない次第であります。

大戦以来、本県の山林は極度に荒廃し、北部山林地帯は、水源が枯涸し、或るいは水害の危機を包蔵し、南部の山林は益々荒廢の度を増し、その結果は発電、干拓、文化施設等の外産業に経済に憂うべき影響をも及ぼしつつあります。

しかしながら終戦第六年の新春を迎え、ようやく金県下に造林の機運が高まり、治山の実も着々挙つてまいりましたことは御同

『林声』が今年で六十年を迎えました。

昭和二十六年一月一日に『林業普及』として第一号が発刊されました。当時、写真の掲載は一枚もなく文章ばかりで四頁、毎月発行されてきました。内容は植林技術や治山事業の紹介、各山林事業所に配置されている林業地区技術普及員からの投稿など、多岐にわたっています。今年度は誌面の許すかぎり『林声』の懐かしの誌面や記事を紹介したいと思しますので、お楽しみください。

○本年度も『林声』のご愛読をよろしくお願ひします

今年度から新しく編集に携わることになりました。どうぞよろしくお願ひします。通勤途中にサクラヤやマツツジ、藤の花などを愛でながら構成等思案中です。ご意見、ご感想等お待ちしております。(A & N)

『安心・安全な岡山県産原木乾しいたけ』岡山県森林組合連合会



岡山県乾しいたけ品評会、箱物コンクールを開催します

出品の〆切は5月13日(金)

5/27(金) 乾しいたけ入礼会

6/12(日) 褒賞授与式

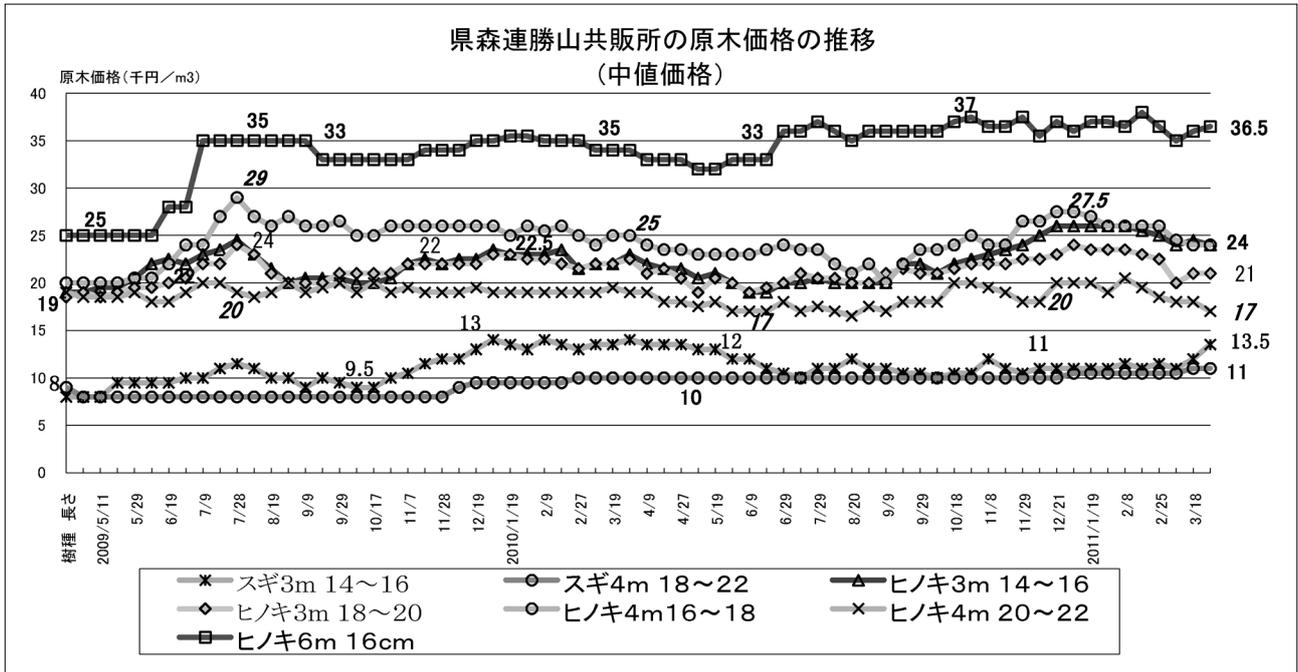
(真庭市勝山文化センター)



◆ 多くの出品をお待ちしております ◆



林産物市況



資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。
(共販所より)

スギ・ヒノキ共に直材の造材が有利です。特に40年生以下のものは元ばちがついていると、小曲りにみられる場合があるので注意しましょう。

スギは3mの柱材、ヒノキは4mの土台取り、6mの柱材の造材が有利です。

製材 (4月中旬)

樹種	寸法	等級	区分	安値~高値
スギ	正角 3m 10.5cm角	特等	G	28,000~35,000
	正角 3m 12cm角	特等	K	45,000~55,000
ヒノキ	正角 3m 10.5cm角	特等	G	28,000~35,000
	正角 3m 12cm角	特等	K	45,000~55,000
マツ	平角 4m 10.5~12cm×15~18cm	特等	G	68,000~73,000
		特等	K	65,000~70,000
米マツ	正角 3m, 4m 10.5cm角	一等	G	35,000~40,000
	平角 3m, 4m 10.5×15~21cm	一等	K	60,000~65,000
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm角	特等	G	45,000~49,000
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	45,000~49,000
		特等	K	66,000~70,000
		特等	K	48,000~55,000

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

緑あふれる環境づくり

株式会社 **山 都 屋**

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備の総合計画

(社)岡山県治山林道協会

岡山市中区高屋225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮1849-2 TEL 0868-28-9360

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕 	森樹郎マット 〔切土土砂用〕 	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕 	張りウッド 〔盛土用〕 	ハリシバモック 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>
津山支店 津山市高尾573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山営業所 岡山市北区横井上1328-2 TEL (086) 294-1000

— 安全・人と自然・調和 —

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕くわんたい
〔樹皮食い防止に〕バークガード 〔野生草食獣食害防止〕防獣ネット
〔クズ専用除草剤〕ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
〔樹幹注入剤〕センチュリーエース ★新発売★マッケンジー注入剤
(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社
TEL.086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
TEL：06-6231-2819

公園・街路修景施設の設計・製作・施工
その他木製品の注文承ります



株式会社 **フォレスト**

〒702-8058 岡山市南区並木町二丁目16番22号
TEL086-265-7350 FAX086-265-1841

緑豊かな未来のために

水源林造成

独立行政法人 森林総合研究所
森林農地整備センター中国四国整備局

〒700-0826 岡山市北区磨屋町2番5号
TEL(086)226-3295 FAX(086)231-6344

FOREST INSURANCE

森林 国営保険



加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？
 火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去 5 年間で 20 億円以上の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1haあたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円
 一括払いだと21,225円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円
 一括払いだと37,375円 (5年間計)

1ヶ月あたり
約350円



わずか缶ビール
1本分

1ヶ月あたり
約620円



わずかラーメン
1杯分

- 保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
- 条件によって契約金額が変わってきます。
- ご相談は、最寄りの森林組合、県民局(森林整備課)・地域事務所(地域森林課)の窓口へどうぞ。

岡山県農林水産部治山課

電話番号 086 (226) 7455 (直通)



「緑の募金」 ご協力をお願いします

募金期間

春のみどりの月間
4月1日～5月31日

秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

緑の募金でふせごう地球温暖化

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

(社)岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

林声 平成二十三年五月一日(四一七号)

編 集 発行人

岡山県庁林政課内
岡山県林業改良普及協会



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>